

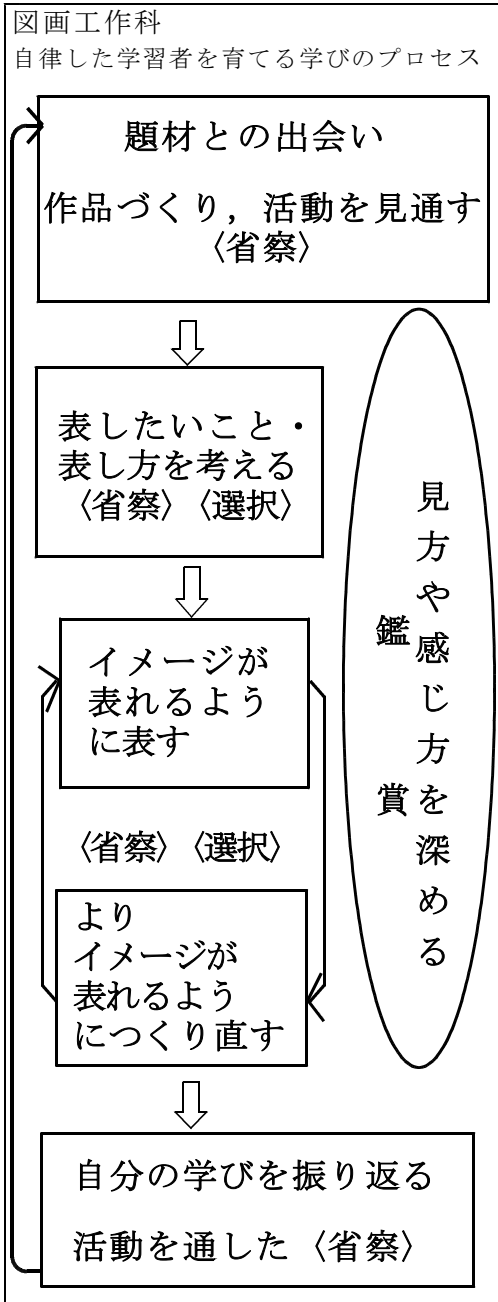
# 令和3年度 図画工作科実践・研究計画

部 員 ○佐々木恵, 進藤亨

研究テーマ

**表したいことをはっきりともち、表したいイメージに近づくように表現を工夫する子どもを育む学び**

## 1 研究テーマについて



図画工作科の特質は、自分が表したいイメージを形や色などで表すことである。

この特質を踏まえ、本校の図工部では図画工作科における「自律した学習者」の姿を、自分が表したいことをはっきりともち、表したいことに適した表現を求めて試行錯誤していく姿であると考える。

表現と鑑賞はそれぞれに独立して働くものではない。互いに働きかけたり、働きかけられたりしながら、補い合って高まっていく活動である。自分の感覚や体験などを基に、自分たちの作品や親しみのある美術作品などを見たり、自分の見方や感じ方を深めたりする鑑賞活動を通して、自分の学びを改めて自覚し、自分で決めた表したいことに近づくような表し方を主体的に選択したり、つくり出したりすることができるようになる。さらには、作品などからそのよさや美しさを感じ取ったり考えたりし、自分のイメージに着目した「見方・考え方」を深めることができると思う。

また、図画工作科における「学びをつなぐ」とは、これまでの生活経験や学んだことを想起し、自分の見方や感じ方を深めたり、習得した表し方を自分の表したいことに合わせて意図的に取り入れたりすることであると捉える。

これまで、表したいことが効果的に表現できているかどうかをイメージや形、色などに着目した「見方・考え方」を働かせながら省察し、試行錯誤を繰り返す実践を行ってきた。その結果、自分の表したいことが相手に伝わるかどうかを視点として、どのような表し方がより効果的なのかを主体的に省察しながら作品づくりに取り組む子どもの姿が多く見られるようになった。しかし、こうした省察から生まれた気づきを他の題材や生活場面につなげている子どもは多くはない。

例えば、作品づくりの際に、色の濃さが異なる緑色が木の葉に塗られ、「その色の濃淡から奥行きを表すことができる」という一段階上の一般化するための省察をする姿を目指すことによって、

木の葉だけでなくより広い場面で活用することができるものと考え。

そこで今年度も、効果的な表現を次の活動につなげるために、相手意識をもって試行錯誤を通した活動をする題材を設定し、個の気づきを全体で共有する場を設け、学びの一般化を図るための省察を重視することを継続していく。

図画工作科で育てたい「学びをつなぎ、資質・能力を高めていく子どもの姿」を次のように捉える。

- ・表したいイメージに近づくように、これまで学んだ表し方を生かしたり、つくる・つくり直すを繰り返したりしながら、表現方法を工夫する姿。
- ・これまでの生活経験や学んだことを想起し、自分の表したいことを見付けたり、表し方を考えたりする姿。
- ・作品づくりや鑑賞を通して見方や感じ方を広げ深め、自分の学びを自覚したり、今後に生かそうとしたりする姿。

## 2 研究の重点 <○は具体的な取り組みの例>

- (1) 試行錯誤を通して効果的な表現方法を選択するための手立ての工夫  
**○表したいことを効果的に表現するために、様々な表現方法から自分の表したいことに適したものを選択したり生み出したりする題材を設定する。**
- ・多様な表し方を体験し、技能として獲得することができるような題材の設定
  - ・多様な表し方を表現の方略としてもつ必要感が生まれるような題材の設定
  - ・既習の表現方法を再度試したり、材料や用具の特性をつかんだりする題材の設定
- (2) イメージや形、色などに着目した「見方・考え方」を働かせて自分の学びを省察し、次の活動につなげていくための手立ての工夫  
**○自分の学びを自覚し、試しながら一般化へつなげていく省察の場を設定する。**
- 次の手立てを「表したいことをどのようにして表すかを構想する場面」「作品づくりの際に、表したいことが効果的に表現できているかどうかを確かめる場面」「作品づくりや鑑賞を通して自分の学びや今後に生かせることを振り返る場面」のそれぞれで行う。
- ・これまでに学んだどんな表し方を用いればよいのかを「全体」→「グループ」→「個」で省察する場の工夫
  - ・学習カードや名付けの活動などによる、形や色などに着目した「見方・考え方」を働かせた自分の表したいことに近付いているかの省察
  - ・個の気づきを全体で共有し、一般化するために試し、確かめる場の設定
  - ・タブレット型端末を活用した製作過程の記録や、自分の思考の流れの省察

## 3 研究・研修計画

時期	主な研究・研修行事	研究・研修内容
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・附属中学校公開研究協議会 (6/4)</li> <li>・附属小学校公開研究協議会 (6/18)</li> <li>提案授業 (進藤：6年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践・研究計画の立案</li> <li>・公開研に向けての指導案検討及び事前研究授業</li> </ul>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科部会</li> <li>・研究リーフレット執筆</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業づくり，授業力向上</li> <li>・実践・研究のまとめ</li> <li>・実践・研究計画の修正</li> </ul>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4回校内研修会 (2/14)</li> <li>提案授業 (佐々木：1A)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の課題検討</li> <li>・校内研修会に向けての指導案検討及び事前研究授業</li> <li>・次年度の実践・研究計画の立案</li> </ul>

通年：年間指導計画及び資質・能力表の加除・修正